



次世代のリーダーを育成する ～ 士会の将来の展望 ～

略歴

2002年より済生会中和病院に入職後、関西医療技術専門学校専任教員、関西福祉科学大学助教・講師、白鳳短期大学准教授・教授を経て、現在大阪人間科学大学教授。

県士会では、2006年奈良県作業療法士会理事、事務局長、副会長を経て、2017年より（一社）奈良県作業療法士会会长を務める。

西井 正樹(にしい まさき) 奈良県作業療法士会 白鳳短期大学

林 辰博 大阪府作業療法士会

小南 陽平 兵庫県作業療法士会

深津 良太 滋賀県作業療法士会

伊藤 和範 京都府作業療法士会

西田 裕希 和歌山県作業療法士会

近畿作業療法士連絡協議会の5番目の事業として「次世代リーダー研修」事業が始まりました。次世代リーダーを育成するにあたって、この事業では、研修会を設けて、各領域のエキスパートの講演をセッティングし、今後の士会を担う次世代のリーダーと問題点や改善策を話し合う機会を提供していきます。このリーダー研修を近畿作業療法士連絡協議会で始める目的は、4つあります。「① 次世代の作業療法士会を担う人材を発掘する」「② 各士会の運営の状況を知ってもらい、士会運営の意義や手段を知る」「③ 各士会での問題点や解決策を協議し、士会運営に参画する」「④ マネジメント、リーダーシップ、伝える力、合意形成能力を育てる」の4つになります。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、上半期に計画していた研修会の開催を見送り、年度末にリモートでの研修会を開催するに至りました。3月22日に行われた研修会では、（一社）日本作業療法士協会の中村春基会長に「次世代人材を担ってもらう人材育成について」と題して講演をお願いしました。また、「将来の展望について」を大阪府作業療法士会と奈良県作業療法士会の会長に講演していただき、今回の動画では、この「将来の展望について」の内容をコンパクトにまとめて紹介します。